

林議員（自民議連）

令和2年12月10日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）GIGAスクール構想の実現に向けた取組について

GIGAスクール構想の実現に向けて、ICTを活用した子供の能力を伸ばし育てる教育について、本県では、いつまでにどのようなビジョンを描いて、効果的に取り組んでいこうとしているのか、また、本県で先行してICT教育が実践されている広島叡智学園での先進的な取組について、どのように全県的に普及させ、広島県全体のICT教育水準の向上につなげていこうとしているのか、併せて、教育長の所見を伺う。

（答）

一人1台のコンピュータの導入を通じて、児童生徒の興味・関心や学習進度に応じた多様な学びを実現し、児童生徒がデジタル機器を日常的に活用しながら主体的に学ぶ姿勢を身に付けることを目指した取組を進める必要があると考えております。

その実現のため、まずは、来年度、小中学校に児童生徒一人1台のコンピュータが、県立学校におきましても、学年進行で令和6年度には全生徒一人1台の環境が整いますことから、それまでに、個別学習や協働学習などの各場面において、効果的な活用が進むよう、計画的に取り組んでまいります。

また、広島叡智学園中学校や今年度一人1台のコンピュータを導入した県立高等学校におきまして、生徒同士で様々な意見があることを理解し、共に課題解決に当たる協働学習の場面で、デジタル機器を効果的に活用した取組が進んでいるところでございます。

今後、児童生徒の主体的な学びを推進するために、こうした先駆的な取組を学校訪問や研修を通して全県に展開してまいります。